

人材育成の現場から



みやざき林業大学校

ひがしうすきぐんみさとちょう
宮崎県東臼杵郡美郷町

修学期間：1年間

定員：15名程度

宮崎県では、林業担い手の確保・育成を図るため、平成26年より「みやざき林業青年アカデミー」と称した各種研修を実施してきましたが、林業関係者はもとより、市町村や各方面から、さらに内容を充実させた林業大学校の開講が強く要望されました。

このため、林業事業体や市町村等のニーズを的確に踏まえ、今年4月にこれまで取り組んできた研修の質的・量的な充実とともに、募集人員の増加や対象年齢の上限引き上げを行い、実践的な人材育成を行う「みやざき林業大学校」を開講しました。

1年間の「長期課程」では、林業・木材産業に精通した即戦力となる未来のリーダーを育成するため、全国最多となる16の資格取得や120日に及ぶ実習など、従来の研修に次のカリキュラムを拡充しました。

- ①本県林業の歴史や先進性を学び林業への深い愛着を醸成
- ②コミュニケーション力やリーダーシップ等を身に付け人間力の向上
- ③林業の基礎からICT等最新技術までの幅広い内容
- ④インターンシップの充実
- ⑤一層の低コスト化や林業労働安全衛生など本県林業の課題解決への取組

さらに、産・学・官が一体となった就学・就業・定着を見据えた支援や指導協力など、一貫したオールみやざきの支援体制（令和元年11月現在85団体）を構築したところです。

このほか、本校では、就業中の現場技能者・木材加工技術者の専門技術の一層の向上を目指す「短期課程」や、林業経営者の能力アップにつながる「経営高度化課程」、林業振興や地域活性化のための「リーダー養成課程」、青少年や一般県民を対象にした森林・林業教育の「公開講座」の計5コース（年間受講者400名）により、幅広く総合的な人材育成に取り組んでいます。



みやざき林業大学校（長期課程）令和元年度研修生



育苗実習



製材・加工実習



刈払機操作実習

人材育成の現場から



くまもと林業大学校

くまもとしちゅうおうくろくろかみ 熊本県熊本市中央区黒髪(県北校 座学拠点) / くまぐんいつきむらこう 熊本県球磨郡五木村甲(県南校 座学拠点)

修学期間：1年間
定員：1学年20名

熊本県は、平成31年4月に「くまもと林業大学校」を開校しました。

これまで様々な研修を各対象者向けに実施していましたが、「研修の全体像が見えにくい」、「自立や定着を図るためのカリキュラム等が不足」などの課題を解決するため、「くまもと林業大学校」として一元化を図り、カリキュラム等の充実を図りました。

この林業大学校は、『くまもとの森林・林業を守りつなぐ』という人材育成方針のもと、3つの研修コースに分けて実施しています。

一つ目は、「①林業体験・学習コース」です。県内に5校ある林業系学科の高校生や女性の担い手を対象に林業機械操作学習などを行っています。また、広く一般の方を対象にチェーンソー目立て等の公開講座を実施しており、キャンセル待ちが出る程の人気です。これらのコースで、森林への理解や林業の魅力を広く伝えていきます。

二つ目は、「②自伐林家育成コース」です。熊本県は、22グループ(会員数417名)の地域の特色を生かした活動を行う林業研究グループや、地域を守り育てる経営を行う自伐林家の方々が多く存在します。この方々が講師となり、一般の方が自伐林家になるための講座を実施しています。

最後が「③林業従事者・経営者育成コース」です。林業に必要な技術と現場力を身に付けて即戦力となる人材を育成する長期課程では、県内外から17名の生徒が元気に学んでいます。この長期課程では、県の林業技術職員や県内外の林業・木材関係者等が講師となり、一丸となって講義・実習を行っています。スマート林業を意識したICT技術やJLCトレーニング研修^{*}、さらには急峻な地域に必要な索道技術などの林業技術が習得できるほか、インターンシップの充実、就業した先輩方からの心得講義、林業魅力ワークショップなどを盛り込み、カリキュラムを充実・強化しています。さらに、経営者向けの講座では、林業経営のトップリーダーを育成すべくゼミ講座やワークショップなどの実践形式で取り組んでいます。

このように、本県では、次世代をリードする林業担い手の確保・育成強化を図っています。

^{*}林業技術及び安全作業意識の向上等を目的に開催されている日本伐木チャンピオンシップ(JLC)の競技種目の意図を理解して実践するための講義及び実技。



入校式の状況



くまもと林業大学校の研修コース



実習フィールドでの研修状況（伐倒実習）



実習フィールドでの研修状況（伐倒実習）



就業した先輩方からの心得講義